

助成事業完了報告書
日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2025年4月4日

事業ID:2025002489

事業名:山口県山口市における「子ども
第三の居場所」(B)コミュニティモデル
の運営

団体名:(福)防府海北園

代表者名:理事長 三原俊寛 印

TEL:083-976-5577

事業完了日:2025年3月31日

■契約時

事業費総額	:	9,730,000 円
自己負担額	:	2,534,400 円
助成金額	:	7,200,000 円

■ 箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	9,010,913 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	1,810,913 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	7,200,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.山口県山口市における「子ども第三の居場所」
(B)コミュニティモデルの運営
(1)期間:2024年4月1日～2025年3月31日
(週3日、10時から19時まで開所)
(2)場所:山口県山口市
(3)対象:20名(ひとり親家庭をはじめ家庭や自身に課題を抱えた小中学生中心)
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学が意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。



(2)事業完了時の事業内容(実績)

1.山口県山口市における「子ども第三の居場所」
(B)コミュニティモデルの運営
(1)期間:2024年4月1日～2025年3月31日(週3日、10時から19時まで開所)
(2)場所:山口県山口市
(3)対象:20名(ひとり親家庭をはじめ家庭や自身に課題を抱えた小中学生中心)
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学が意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。

(3)成功したこととその要因

スタッフに加え大学生ボランティアの充実を図ったため、子どもとの1対1の関係を重視することが出来た。
また、日々の学習や遊び、人間関係の構築に加えて季節の行事開催や、週1回自分でご飯を作る日を設定したり畑
づくりをしたりするなどの体験を充実させた。
スタッフ、ボランティアは終了時、毎回、反省会・情報交換会を行い、子どもとの接し方や気になることを共有し、
対応について話し合い実践していくことで子ども達の生活習慣形成や学が意欲向上の支援、及び社会的相続の補
完に努めた。

(4)失敗したこととその要因

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。

(5)事業内容詳細

別添の報告書を参照

追記/月曜:おやつの日としておやつ作りをした手作りおやつと市販のおやつを提供

木曜:自分ご飯の日としてスタッフが見守り子ども自身が調理

金曜:地域ボランティア手作り調理

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因	
(4)失敗したこととその要因	
(5)事業内容詳細	
■事業内容4 (1)契約時の事業内容  (2)事業内容の実施(完了)状況	
(3)成功したこととその要因	
(4)失敗したこととその要因	
(5)事業内容詳細	

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- ・2025年3月31日までに一日平均利用児童数を20名にする
- ・地域住民、行政、学校、ボランティアとの関係構築及び多世代交流機会の提供
- ・子育て相談が出来る体制を整える
- ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントや季節の行事を事業期間内に10回実施する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	283	文字数チェック	OK
・一日平均児童数は16名程度であった。登録数は42名になったが、冬場の利用数が減少していた。 ・関係機関との連携は十分達成し、学校や行政などから相談を受けることも多々あった。また、地域食堂を開催したことで多世代交流の機会も提供できた。 ・迎え時の保護者からの相談はどのスタッフも行えるようにして話を聞いた。また、関係機関との連携により、母子での来所や相談のみでの来所も多く、スタッフ全員で受け入れた。 ・入学式やこいのぼりアート、バーベキューやお餅つき、クリスマス会や節分会等毎月1回以上季節のイベントを行い、随時行う畑作りもあわせ「経験の不足」を補うことが出来た。			

3.事業実施によって得られた成果

・令和8年3月頃に一日の平均児童数が20名になっていると見込まれる。 ・令和10年3月頃に山口市の地域子育て支援のハブになっていると見込まれる。
--

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

児童の送迎の充実が課題。学校区外など児童だけでは来所が困難だが利用したいと言う声を聞き、送迎スタッフを設置した。これにより利用者の幅は広がりが言んでいたが、現在は送迎スタッフがひとりであり、仕事のかけもちがある中で、児童や保護者のニーズに応えきれない。 今後、スタッフと時間の調整を行い、よりニーズに近づけて行きたい。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

活動報告書	(2)事業完了時の成果物名称
	活動報告書 ホームページ(活動写真含) チラシ

		
--	---	--

(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由は記載してください。

--

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<http://ibs-club.org>

--

2024年度 収支計算書	契約書(記3)に記載の補助率	80	団体名:(福)防府海北園
	(単位:%)	の運営	事業名:山口県山口市における「子ども第三の居場所」(B)コミュニケーションモデル
			事業ID:2025002489
			2024年 4月 1日から 2025年 3月 31日まで

(収入の部)		予算額 (A)	決算額 (B) 自動計算	助成金返還見込額 自動計算 (A - B)	(単位:円)
①	日本財団助成金収入	7,200,000	7,200,000	0	
②	自己負担	2,534,400	1,810,913		
③	収入合計	9,730,000	9,010,913	0	

[illegible]

返還見込額の発生	
無し	

※「有り」の場合は予算額に対し決算額が下回っているため、返還金が発生する可能性があります。

【一致確認】 ※NGが出た際は、入力が間違っているかもしませんので該当項目を再確認してください。

予算額(A)③収入合計=予算額 (x)④支出合計	OK
決算額 (B)③収入合計=決算額 (y)④支出合計	OK

☒ ① (収入の部)の予算額 (A)の①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。

☒ ② (収入の部)の予算額 (A)③収入合計と
(支出の部)の日本財団承認済の予算額 (x)④支出合計が一致しているか。

☒ ③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。